●B4折り込み_オモテ（257×364mm）

お金に余裕がない狛江市で、お金を使わずアタマを使った、市民全体のための市政を目指します。

みやけ MIYAKE MAKOTO

無所属の狛江市議会議員

三宅まことの市政リポート

Vol.14 2019年春号

市政報告リポート 2019年春号【発行】狛江市議会議員 三宅まこと事務所
〒201-0004 狛江市岩戸北3-18-8-701 TEL:090-3815-6045 FAX:03-3489-1677
公式HP http://三宅まこと.com

市議会議員ミヤケの四年間を振り返ってみます。

議員になってみて気づいたこと

平成27年の狛江市議会議員選挙から早いもので、四年が経ちました。投票用紙に「三宅まこと」と書いていただいた市民の皆様に市議会へ押し上げていただいたことを感謝し、「民間の視点で新しい狛江を目指していく」という一念でこの四年間行動してまいりました。

私は、裏面のプロフィールに記しましたが、大学を卒業後、27年の長きに渡り広告代理店に勤め、たくさんのクライアントさんとお仕事を共にしてまいりました。そうした環境の中で、民間企業の仕事の厳しさ」を学んでいきました。

議会に入ってみて、あるいは議員になってみて、何よりも実感したことがあります。それは、地方議会という業界が、世の中の当たり前から30年は遅れているんだなぁ、ということです。

議会運営員会で決まらなかったこと

議会のことは、すべて議会で決めます。自分たちの議員報酬や定数もすべて自分たちで決めていきます。

二年前の議会では定数一名削減した原資をもとに、報酬水準を修正し、議会事務局の政策立案機能を充実させる旨の条例を提案しました。

見たくなる議会にしていきたい

他の議会では標準装備となっている「議会主催の市民報告会」は昨秋に試行実施するまでこぎつけました。

したが、反対多数で否決されました。その理由は議員定数を下げることで民意を反映できなくなる？という業界のようです。

また、昨年の第三回定例会以降、（前）狛江・生活者ネットワークの議員が長期の病欠をされていました。当然ですが、報酬の扱いを多くの市民の方から指摘されていましたが、こうした案件も議会運営委員会に託されています。

さて、残り少ない任期ですが、「憎まれ役」としてはやり残したことがまだまだあります。市民の皆様から「見たくなる議会」と言われることが目標です。今後ともミヤケの活動にご注目ください。

二回目は改選後の議会運営委員会に託され、その実現は不透明なままです。

私は多くの市民の方から「議会のことを知らない」というお声を頂戴します。それは、ひとえに我々のコミュニケーションレスが理由です。いくら議会が「やっている」と言っても、それが「伝わらない」ということは「何もやっていない」ことイコールだからです。

市議会議員 みやけくん

ギカイを変えた四年間ダイジェスト

1

27年の会社勤めを辞めて、ギカイへ入ってみたら体質古すぎ。まぁ、驚きの連続・・

2

議会だよりを変えていきましょう！と提案するも・・最初はギインの皆さん、こんな反応でした

3

市民の皆さんとお話しするギカイ主催の会をやりましょうよ！と提案しても・・・

ノラリクラリ

4

ギカイのことはギカイでしか決められません。で、この四年間結構、憎まれ役をやりましたぁ

●B4折り込み_ウラ（257×364mm）

やさしい事をむずかしく言わない！
むずかしい事を簡単に言います！

狛江市議会議員　三宅まこと市政報告リポート

ミヤケと狛江のことを話しましょう

私は、いわゆる政治家の“後援会組織”というものを作りません。そういう組織って、結局は地元の有力者が中心で旧態依然とした政治活動のやり方になっていくと思います。

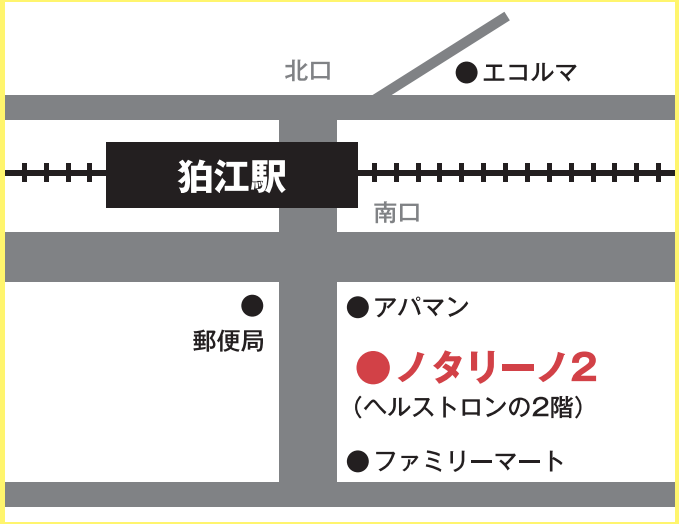
今の時代は、そうではなくて、昔からお住まいの方や新しい住民の方が手と手を取り合って、狛江の街をイケてる街にしていくためにアイデアを出し合っていく、そんな仲間（サポーター）が必要です。

次の狛江を作っていくために、ぜひ「三宅まこと」にお力を貸してください。新年度は、狛江の市議会も大きく変わります。私も、様々なアイデアを具現化していくためには、どうしても多くのサポーターの皆さんが必要です。そこで、「私が市議会で四年間取り組んできたこと」をお話しし、市民の皆さんと「意見を交換」させていただく、そんな会を３月２日（土）３日（日）開催いたします。

両日とも、同じ内容ですので、ご都合のいい時間にご来場いただければ幸いです。

「ミヤケをサポートしてもいいよ！」という方、「いつも狛江の駅に立って話していたミヤケと、この機会に話してみよう！」という方、「こまえの未来はこうしていきたいんだ！」という方、ご参加をお待ちしております。

3月2日（土）
3月3日（日）
いずれも午後**1**時から
狛江駅（北口ではなく）
南口のノタリーノです。
駅改札から徒歩0分



無料/申込みは
info@miyakemakoto.jp
090-3815-6045（三宅）

1987年 4月 社会へ
立教大学経済学部卒業後に株式会社東急エージェンシーに入社、以来営業職として、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット広告、イベント企画運営、CM制作等に携わり、人と人のコミュニケーションの大切さ、難しさを学ぶ。

2012年 5月 転職
同社にて120名の社員を率いるプロジェクト運営中に、妻が病気を発症し、要介護、障がい者認定を受けたことに伴い、介護のために休職。2014年3月に27年間勤務した同社を退社。同時期に自身も長期入院を経験したことから、社会保障制度の重要性を体感する。その後、介護初任者研修、介護事務、実務者（介護上級職）研修修了、同行援護従業者の資格取得。現在、介護ヘルパーとしても就業中。

2015年 4月 現在
狛江市議会議員選挙で、無所属新人候補として立候補。得票数で全体2位の1871票で初当選。建設環境常任委員会を経て、現在は社会常任委員会に所属。

政治評論家、故三宅久之の三男。
著書：「愛妻納税墓参り 家族から見た三宅久之回想録」（平成26年イースト・プレス社）

三宅（みやけ） 眞（まこと）
1964年7月生まれ、54歳